

KAZUSAFARM

千葉県立君津高等学校
園芸科 上総キャンパス
7. 8. 9月 活動報告

◎小系在来[®]種まき！ 6月28日（水）・7月3日（水）

本校園芸科は小系地区に古くから伝わる幻のエダマメ（ダイズ）と呼ばれる「小系在来[®]」の栽培を地元の小学生、中学生を招き一緒に栽培しています。6月28日には周東中学校2年生、7月3日には小系小学校2年生のみなさんと一緒に種まきをしました。園芸科からは2年生が参加しました。



小系小2年生のみなさんとは4月に播いたトウモロコシの収穫も行いました。



暑い中での種まき・収穫でしたが、小学生は元気いっぱい。高校生もその元気に触発され、楽しそうに交流している姿が印象的でした。9月には小系在来の生育の様子を見る観察会を予定しています。

◎第72回千葉県農業クラブ連盟研究発表大会！ 7月26日（水）

7月26日（水）には多古町コミュニティープラザにて農業クラブの研究発表大会が開催されました。農業クラブとは農業系の学校で学ぶ生徒全員が加入する全国的な組織です。日頃の学習の成果を発表する大会で、最優秀賞（第1位）をとることができれば、関東大会や全国大会にもつながります。本校からは意見発表部門で2名出場しました。そして、分野3類で、見事園芸科3年相澤愛弓さんが優秀賞（2位相当）を受賞しました。残念ながら関東大会は逃しましたが、堂々とした発表でした。



また、今大会にはレクリエーションの部で農業クラブ伝統の踊りである「FFJのおどり」を市原高校のみなさんと合同で披露しました。このおどりを踊ることができる農業高校生は少なく、伝統を継承することの責任を感じながら一生懸命踊ってくれました。さらに、大会運営も生徒たちが中心に行っており、本校の生徒も活躍してくれました。様々な場面での本校生徒の活躍を心から誇りに思います。

◎夏季休業中実習 7月～8月

学校は夏休みでも農場は休みではありません。秋野菜苗や秋冬花壇苗の準備、各所の花壇の整備や畑の準備など、しなければならない作業はたくさんあります。細かい作業から炎天下での作業。農業は適期を逃してしまうと大変なことになるてしまいます。しかし、今年は連日酷暑。気合と根性ではどうにもならない天候で、熱中症に十分注意しながらの実習でしたが生徒たちは皆よく頑張ってくれました。



◎小系在来[®]観察会 9月13日(水)

この日は小系在来[®]観察会です。7月に播いたタネがどのように大きくなったか観察してもらいました。小さな白い花が咲いていたり、葉の感触に声を上げたりと楽しそうに観察してくれました。また、農業体験として冬に収穫できるようにダイコンのタネまきもしてもらいました。



◎中学3年生対象園芸講座 9月16日(土)

今年度も中学3年生のみなさんに進路選択の参考してもらおうと全3回にわたり園芸講座を実施します。その1回目を実施しました。約30名の生徒が参加し、本校の園芸部の指導の下ダイコンのタネまきやパンジーのたねまき体験をしました。

